第68回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会　後援／大阪府

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞	御堂筋ダイビル	喜多主税・金子公亮・谷口尚史
	大阪避雷針工業神戸営業所	山崎篤史・大石幸奈
■渡辺節賞部門　渡辺節賞	ATEREA GARDEN 光亜興産本社	真庭　綾
	光土間の隠れ家	北村泰之

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の建築士を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2019 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

＊建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

＊竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の建築士

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の建築士
完了検査済証発行日現在 39 歳以下

審査委員会

委員長　倉方俊輔（大阪公立大学教授）

委　員　※50音順
浅尾　宏（大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室長）
田口雅一（大阪芸術大学教授、TAPS 建築構造計画事務所所長）
根本哲夫（奈良女子大学教授）
松本尚子（京都芸術大学准教授）

審査

応募数　大阪府知事賞部門 35 点
渡辺節賞部門 9 点

審査委員会 4 回

●第 1 次審査

2 月 10 日　書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門 5 点、渡辺節賞部門 4 点を選考

●第 2 次審査

2 月 17 日、3 月 3 日　第 1 次審査通過作品について現地審査を 2 日間実施

●最終審査

3 月 3 日　第 2 次審査終了後に実施

大阪府知事賞部門：大阪府知事賞 2 点

渡辺節賞部門：渡辺節賞 2 点を選出

表彰式

日程　令和 7 年 5 月 28 日（水）
本会定時総会式典席上

会場　KKR ホテル大阪

審査経過並びに総評

審査委員長　倉方俊輔

伝統ある賞の審査委員長を務めることになり、結果として「大阪建築コンクール」らしい審査結果となったことを、今、清々しく感じている。

本賞の要点は、募集要項に明記されている通り、「建物の種類・規模は問わない」という点にあると考える。建築は建築である。その中で、多くの人々が自作を応募というかたちで世に問い、公益社団法人大阪府建築士会の関係者が準備に力を注ぎ、審査員が作品を吟味し議論を重ね、これが建築であると考えるものを発表する。この営みが積み重ねられて、すでに67年となる。過去の入賞者を見ても錚々たる顔ぶれが並び、大阪の建築史を物語っている。作品の性格には、その時々の時代性が如実に反映されている。

本賞は「大阪府知事賞」と「渡辺節賞」の二部門に分かれているが、両者の間に大きな違いがない点も特徴といえる。後者には応募資格として「39歳以下」という条件があり、若手顕彰の意義が込められているが、過去には大阪府知事賞が住宅作品に与えられたこともあれば、渡辺節賞が大型の建築に贈られたこともある。優れた建築において、規模の大小は本質的な問題ではない。さらに言えば、設計組織の規模も無関係だ。大阪にはそんな風に、建築をひとつのものとして捉える風土がある。建物の種類や規模にかかわらず、作品の質をめぐって真摯にコミュニケーションがなされ、新しい試みに光が当たる。そうした伝統が、今年68回目となる審査結果にも表れている。

本年度は、大阪府知事賞部門に35点、渡辺節賞部門に9点の応募があった。応募書類をもとに第一次審査を行い、9点を第二次審査（現地審査）の対象とした。この選考作業が、実に悩ましい。これまで日本建築学会賞や東京建築士会の賞の審査にも携わってきたが、書類だけでは伝わらなかった質に、現地で出会うことは少なくない。

したがって、できるだけ多くの作品を現地で見たいという思いはあるものの、数をいくら増やしたとしても審査員が読み取れなかった可能性は残る。そのため、過去の経験を踏まえ、2日間で余裕をもって見学・議論できる件数に絞る判断をした。こうした事情をふまえ、本年度の応募者には、今後も自作を世に問う姿勢を継続してほしいと願っている。

大阪府知事賞を受賞した「御堂筋ダイビル」については、オフィスビルという建物の種類を捉え直した設計理念の深さが、審査員一同の高い評価を得た。単に良く機能する建物を街に一つ加えるのでもなく、造形的な遊びに偏るのでもない。ファサードは、日射抑制という機能的要請から導かれた外装フィンを持ちつつ、遠景における都市の風景とも調和している。2階のテラスは1階店舗の賃貸面積を最大化するという経済性への配慮のもとで設計されながら、建築の内と外にいる市民の体験の両方を豊かにしている。技術面・コスト面で無理をしていないのもいい。個別性を楽しみ、普遍性のある解答が提出されている。

もう一つの大阪府知事賞である「大阪避雷針工業神戸営業所」も、リノベーションないしは改修設計という昨今、一般的になってきた建物の種類をより高みへと導くものとして評価が集まった。単にコストや環境配慮といった理由で既存建物を活用したのではなく、その既存性を素材としながら、建築がいかに豊かで創造的なものになり得るかを示している。減築によって設けられたトップライトから構造体に落ちる光は空間に生命を吹き込んでおり、新たな基礎を必要としない左右への開放的な構成が、柔らかく包容力のある空間性を実現している。こうしたデザインの質は、施主に対しても業務への自信と誇りを与えている。改修設計こそが、新築以上に個別性や新規性を発揮できる設計領域なのではないか。そんな理念が感じられる。

渡辺節賞を受賞した「ATEREA GARDEN 光亜興産本社」は、完成度の高さに加え、現地審査での納得感が際立っていた。これは個人的な見解となるが、立地を愛していると感じられた。施主が長年関わっていたこの街の中での位置を読み解き、敷地の形状を内部空間の心地よさにつなげ、施主が望む次のまちづくりを自然に推進する基盤を形作っている。建築とは揺れ動かない、思想の表明である。本作がまちなかにできたことで、関わる人々の関係性はさらに良くなっていくことだろう。今後も多くの声を聴き続けながら、建築をつくり続けてほしい。

もう一つの渡辺節賞である「光土間の隠れ家」こそ、建物の規模と建築の理念の大きさとは別問題である事実を、最も示しているものかもしれない。また、今回たまたま他の3作品はいわゆる組織設計事務所に所属する設計者の作品であり、本作はそうではないが、それらを同列に審査できることも実感できた。つくり手であり、暮らし手でもあるセンスの良さを感じさせる心地よい空間であり、それが同時に、再建築不可の建物に対する説得力ある解答となっている。大阪らしさという個別性を救済できる建築家らしい能力をぜひ、普遍的に展開してほしい。

「大阪建築コンクール」の「大阪」とは、大阪らしさや京都らしさ、そして奈良、神戸、滋賀などにおける多様性が交流し、刺激し合う場所として付された名称だろう。ここにもまた「東京」などとは違う個性が見出だせる。今回の第二次審査対象となった残り5点も、それぞれの場所性を読み取った、志の高い作品だったことが、そんな思いを強くさせる。

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　御堂筋ダイビル

設計者　喜多主税・金子公亮・谷口尚史（株式会社日建設計）

建築位置／大阪市中央区　竣工年月／2024年1月　建築面積／1,101.26㎡
建物用途／事務所　構　造／S造　一部SRC造　延床面積／20,275.57㎡
建 築 主／ダイビル株式会社　階　数／地上20階・地下1階・PH1階
施 工 者／株式会社大林組　敷地面積／1,491.92㎡　撮影　Akira Ito.aifoto

〈審査講評〉歴史的な都市インフラを丁寧に観察し、「御堂筋の価値は2階」という視座を得ることで新たな都市体験を生み出した、都市空間のリノベーションとも言えるプロジェクトである。金属パネル外装や環境性能を最適化するフィンなど、周辺環境に反応する動的なファサードは、これからのオフィス建築の方向性を示唆している。（審査委員　松本尚子）

喜多主税
1969年8月生まれ
1992年3月 京都工芸繊維大学工芸学部建築学科卒業
1992年4月 株式会社日建設計入社

［主な建築作品と受賞歴］
〈紀陽銀行田辺支店〉2012年 日本建築士会連合会賞奨励賞・日本建築学会作品選集／〈大塚グループ大阪本社大阪ビル〉2015年 日事連建築賞・日本建築学会作品選集・World Architecture Festival:Office shortlist・2016年 大阪建築コンクール（大阪府知事賞）・2017年 日本建築士会連合会賞奨励賞／〈蘇州現代メディアプラザ（蘇州電視台）〉2018年 日本建築学会作品選集・中国優秀勘察設計業界賞・中国建築工程魯班賞／〈常州商務金融広場・秋地区〉2022年 中国地産設計大賞（CDEDAWARD）優秀賞・Pro+Award普夢賞 銀賞／〈蘇州呉江バスターミナル〉2024年 中国地産設計大賞（CDEDAWARD）優秀賞

金子公亮
1982年11月生まれ
2001年4月 東京都立大学工学部建築学科入学
2005年3月 〃 卒業
2005年4月 首都大学東京大学院工学研究科建築学専攻入学
2007年3月 〃 修了
2007年4月 株式会社日建設計入社

［主な建築作品と受賞歴］
〈松江市総合体育館〉2017年 日本建築家協会優秀建築選・2020年 公共建築賞 優秀賞／〈椙山女学園大学附属椙山こども園〉2020年 日本建築家協会優秀建築選・2020年 愛知県建築士事務所協会建築賞 優秀賞・2022年 日本建築学会作品選集、同新人賞／〈阿波銀行本店営業部ビル〉2022年 日事連建築賞 国土交通大臣賞・2022年 日本建築学会作品選集、同新人賞・2022年 日本建築家協会優秀建築選／〈尾道市本庁舎〉2022年 日本建築家協会優秀建築選・2023年 日本建築学会作品選集／〈浜松いわた信用金庫 本部・本店〉2024年 中部建築賞・2024年 ふじのくに木使い建築施設表彰 最優秀賞

谷口尚史
1986年2月生まれ
2008年3月 京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科卒業
2012年3月 京都市立芸術大学大学院美術研究科環境デザイン専攻修了
2019年10月 株式会社日建設計入社

■大阪府知事賞部門　大阪府知事賞　大阪避雷針工業神戸営業所

設計者　山崎篤史・大石幸奈（株式会社竹中工務店）

建築位置／神戸市兵庫区　竣工年月／2024年4月　建築面積／297.14㎡
建物用途／事務所　構　造／RC造・S造・W造　延床面積／471.59㎡
建 築 主／大阪避雷針工業株式会社　階　数／地上2階
施 工 者／株式会社竹中工務店　敷地面積／660.87㎡　撮影　山本拓治

〈審査講評〉環境負荷を減らし、耐震・環境性能だけでなく、空間の質の向上や過去と未来を紡ぐ新たな価値への転換を目指す設計者の改修提案は、書類審査から魅力的であった。現地審査では、環境調整装置的な南北の外壁と庇の構造解法がやや強引な印象も受けたが、設計者の話を聞き、空間を体験すると、精緻なロジック以上に施主との良好な関係の中で生まれた「時がつくる価値・経年美化」というコンセプトが建築全体で感じ取れる秀作であった。（審査委員　田口雅一）

山崎篤史
1982年8月生まれ
2005年 神戸大学工学部建設学科卒業
2007年 神戸大学大学院自然科学研究科修了
2007年 株式会社竹中工務店入社
2008年 同社広島支店設計部
2012年 同社大阪本店設計部

［主な建築作品と受賞歴］
2005年 神戸大学建築大賞
2015年 ひろしま建築文化賞／寺岡整形外科病院
2018年 日本建築協会 第65回青年技術者
2022年 釜山建築祭 招待建築家（韓国）／Seeds Paper Pavilion
2024年 兵庫県人間サイズのまちづくり賞 知事賞／大阪避雷針工業神戸営業所
2024年 ウッドデザイン賞 奨励賞／大阪避雷針工業神戸営業所
2025年 iF DESIGN AWARD（ドイツ）／大阪避雷針工業神戸営業所
2025年 知財番付2024 将来性部門銀賞／大阪・関西万博「森になる建築」

大石幸奈
1992年8月生まれ
2015年 東北大学工学部建築・社会環境工学科卒業
2017年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了
2017年 株式会社竹中工務店入社
2018年 同社大阪本店設計部

［主な建築作品と受賞歴］
2022年 釜山建築祭 招待建築家（韓国）／Seeds Paper Pavilion
2024年 兵庫県人間サイズのまちづくり賞 知事賞／大阪避雷針工業神戸営業所
2024年 ウッドデザイン賞 奨励賞／大阪避雷針工業神戸営業所
2025年 iF DESIGN AWARD（ドイツ）／大阪避雷針工業神戸営業所
2025年 知財番付2024 将来性部門銀賞／大阪・関西万博「森になる建築」

■渡辺節賞部門　渡辺節賞

ATEREA GARDEN 光亜興産本社

設計者　真庭　綾（株式会社日建設計）

真庭　綾
1986年5月生まれ
2009年3月 京都工芸繊維大学工芸科学部造形工学課卒業
2011年3月 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築設計学専攻修了
2011年4月 株式会社日建設計　現在に至る

［主な建築作品と受賞歴］
2016年 浜松いわた信用金庫きらりタウン支店 日事連建築賞 奨励賞
2016年 浜松いわた信用金庫三方原支店 中部建築賞 入選
2018年 デンソーグローバル研修所・保養所「AQUAWINGS」BCS賞
2021年 ベガサスミシン製造本社 大阪環境にやさしい建築賞
2023年 ミズノイノベーションセンター「MIZUNO ENGINE」日経ニューオフィス賞
クリエイティブ・オフィス賞

建築位置／門真市	竣工年月／2022年9月	建築面積／527.24㎡
建物用途／事務所	構　造／S造	延床面積／2006.52㎡
建 築 主／光亜興産株式会社	階　数／地上5階	
施 工 者／日本建設株式会社	敷地面積／672.52㎡	撮影　Buddy'P 長屋　明

〈審査講評〉まちづくりに取り組まれている会社の社屋。隣接する公園に面した1・2階のスペースを地域活動に開放し、西側の前面道路と公園に面する部分を徐々にセットバックさせ、周辺の「緑」と立体的に連続させた植栽、公園に大阪の海「風」をよびこむフォルムは開放感があり好感が持てる。低層部の照明の「光」が夜間に公園や歩道に漏れ、落ち着きがあり風合いのある外装とともに街を演出している。
（審査委員　淺尾　宏）

■渡辺節賞部門　渡辺節賞

光土間の隠れ家

設計者　北村泰之（一級建築士事務所 KNOOOT 株式会社）

北村泰之
1989年9月生まれ
2012年3月 大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業
2021年3月 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 建築学専攻 博士前期課程修了
2012年4月 株式会社スペース
2016年4月 株式会社アルキービ総合計画事務所
2022年3月 knooot一級建築士事務所開設
2022年3月 アアルト大学 建築・デザイン・芸術学部 客員研究員
2023年10月 KNOOOT株式会社設立
2024年4月 日本理工情報専門学校 建築デザイン科 非常勤講師
2025年4月 大阪モード学園 インテリア学科 非常勤講師
［主な建築作品と受賞歴］
2025年「borns」
2024年「光土間の隠れ家」／令和6年度住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 経済産業大臣賞
2023年「π spectacle」
2023年「HOUSE H」
2020年「箕面森町の家」／AZ Awards 2021 受賞、ASIA DESIGN PRIZE 2021 GRAND PRIZE -Team of the Year（年間最優秀賞）、グッドデザイン賞2020 受賞

建築位置／大阪市東成区	竣工年月／2024年7月	建築面積／43.64㎡
建物用途／戸建住宅	構　造／W造	延床面積／78.65㎡
建 築 主／北村泰之	階　数／地上2階	
施 工 者／KNOOOT 株式会社	敷地面積／82.01㎡	撮影　緋田昌重

〈審査講評〉木造密集市街地の空き家対策に一石を投じる意欲的な取り組みに敬意を払いたい。接道義務を果たすことができず建替え困難な空き家に対し、その場がもつ優れた特性を深く読み解き、見事なまでに空間の再編を成し遂げた秀作と言える。新築には表現することが容易ではない多くの魅力が引き出されていた。何より、光土間に対し大きな開口部と吹抜を設けた「明」の空間と寝室や居間などの「暗」の空間のコントラストが秀逸であった。
（審査委員　根本哲夫）